発行所
友愛青年同志会
東京都文京区音羽町7の10
電話 大塚（941）2801
編集兼発行人　高野政利
定価　1部　10円

入会申込は支部または本部までハガキで御連絡下さい
東京都文京区音羽町七の十
友愛青年同志会

研修会の充実を期待

中堅幹部養成の基本

軽井沢研修の意義を再検討

毎年夏期事業としておこなわれている「第十二回軽井沢指導者講習会」を八月二十日より二十二日までの二泊三日の日程で軽井沢友愛山荘において開催した。

参加者は、千葉支部、船橋支部、前橋支部、愛知学生部、東京都支部連合会からそれぞれの参加があった。

講師には、常任参与・日本大学助教授深津栄一、幹事長・尾形智矩、事務局長・宮田靖、中央教育指導部長・鶴巻克雄の四名であった。

今回より軽井沢指導者講習会の目的は、友愛運動推進のための指導者養成が主体であり、内容については、これまで新入会員をも含めた意味での講習会であったが、今回よりは支部役員もしくはそれに準ずるものと規定を加え、講習会の内容の資質の向上をはかった。

第一日目は、開講式、オリエンテーションの後、尾形智矩幹事長より「友愛の組織について」の講義があった。講義の内容は、本会の組織機構図を中心にして、組織とはどんなものであるか、また組織のあり方については国会や会社の機構と比較しながら詳細な講義があった。講義が終ってから約三十分講義を中心とした質疑応答があった。

夕食後、夜のミーティングに参加して楽しく一時間半の時を過した。このミーティングで参加者はお互に打ち解け合って大変有意義であった。

第二日目は、常任参与、日大助教授深津栄一氏より「友愛の根本理念について」の講義が八時より一時間半おこなわれた。

友愛の根本理念に入る前に、友愛山荘のおいたちについて話があった。最初は、軽井沢の南ヶ丘の農家を借り、夏期のみ開催していた。それから浅間隠しといわれるところの一軒家を借り、ここで研修会や講習会等を開いた。友愛山荘が出来るようになったのはこの様な借家住いの不便さから起ったものであった。

友愛運動については、青少年運動は青少年が積極的に運営しなければ意味がない。友愛の場合、友愛革命は、基本的には「人間革命」であり、人間の生き方、精神の革命である。

この革命をおこなう人は、レデイでありジェントルマンである。レディ・ジエントルマンというとすぐにイギリスを思い出すのであるが、カルレギー伯がいうように、普通の能力を持った男女ならば誰でもなれるのである。友愛という考え方は、自由と平等の上になりたつものであるから、自由、平等と個々別々にわけて考えることは出来ない。故鳩山一郎先生が翻訳された「自由と人生」はどちらかと言えば左翼的思想であった。丁度、友愛会という名で労働運動が盛んであったがこの友愛会も左翼的であった。共産主義とは違う点は、人間性をあくまでも認めるということである。

本会が十二年も続いてきた裏には「友愛」という思想的に強力なバックボーンがあったからではないかという友愛についての講義であった。

この後、友愛の根本理念に立った上での現在の諸問題、ベトナム紛争、日韓問題等についての話があった。

講義が終ってから約三十分間質疑応答があった。

午後一時からは、中央教育指導部長鶴巻克雄常任幹事より「友愛の活動について」の講義があった。

第三日目に入り、八時より宮田靖事務局長より「青少年運動の発展と友愛について」の講義があった。

講義終了後、直ちに参加者全員に感想文をかいてもらった。感想文が書き上ってから、閉講式に移り、参加者全員に「この講習会で体得した知識を各組織に帰って実践するように心掛けて欲しい」との尾形智矩幹事長よりあいさつがあって、二泊三日の研修会の幕を閉じた。

留学生元気に勉学

今年四月に来日したマレイシア女子留学生二名は、その後も元気に勉学を続け、夏期休暇は軽井沢友愛山荘のスタッフをかねて日本語学校に入学した。去る八月二十八日に全べてが終了して当校を優秀な成績で卒業、三十一日からは再び福岡の純真女子短期大学で勉学を続ける。

第五回

常任幹事会を開催

第四次使節団派遣を決定

第五回常任幹事会は、九月二日（木）午後六時より本部において出席者十四名をもって開催された。中川治男常任幹事が議長になり一般会務報告と議事について討議がおこなわれた。

一般会務報告については、（1）第十二回軽井沢指導者議習会（2）第八回新生活運動研修会（3）友愛移動文化四国映画班（4）日中交流について（5）マレイシア女子留学生の夏期休暇終了についての順序で各担当者より報告があった。

続いて議事にはいり、（1）「若人の森」賛助金について（2）第四次友愛東南アジア使節団派遣について（3）鳩山先生銅像建立一周年記念について（4）大阪府「箕面支部」総会への本部代表派遣について（5）その他の五議題があった。

第四次友愛東南アジア使節団については、例年通り来年の二月前後に行うことに決定した。公募は早速「友愛」九月号に記載募集を始めることになった。

鳩山先生銅像建立一周年記念については本会は、積極的に取組むことに決定した。当日、東京都支部連合会、関東学生部より整理係やその他の手伝いとしてかなり参加する。

大阪府「箕面支部」総会への本部代表派遣については、幹事長に一任し、その際に近くの支部組織を廻ってくる。

その他については、本部への各常任幹事よりの意見が出された。新聞を定期的に出し、本部事務局員は内部充実をするために良く考えて事務運営にあたるようにとの意見が出された。

海外派遣団員募集

名称　第四次友愛東南アジア使節団
主旨　本会の友好団体であるマレイシア青年連盟（MAYC）およびカンボジア王国 社会主義 青年同盟（RCSY）の招待により両国を中心に東南アジア七カ国を歴訪し、各国青年代表、政府関係者と懇談し各国との友好親善に努める
日程　昭和四十一年二月下旬から約三週間
訪問国　マレイシア、シンガポール、タイ、カンボジア、ベトナム、香港、中華民国
派遣人員　二十名
資格　本会々員で都道府県連、支部、地区責任者の推せんする者
経費　約二十三万円（旅費、宿泊、手続き経費を含む）
申込み　履歴書、戸籍抄本、写真五枚に申込金一万五千円をそえて本部事務局に申請する。
〆切　十二月十日まで必着。
団員発表　常任幹事会で審議の上昭和四十一年一月号機関紙および本人に直接通知する。
問合せ　本部事務局、東京都文京区音羽町七の十
友愛青年同志会、国際部
電話（941）二八〇一番
（943）一八八八番

名称　マレイシア青年祭（ペスタベリア）参加代表団
主旨　マレイシア青年連盟（MAYC）より招待を受け同連盟主催の青年祭（ペスタベリア）に参加し、日本舞踊等を紹介し芸術文化面を通じて友好親善に努める。
日程　昭和四十年十二月十日より約三週間（マレイシアに一週間滞在し後の二週間はカンボジア等六カ国を訪問する）
訪問国　マレイシア、シンガポール、タイ、カンボジア、ベトナム、香港、中華民国
派遣人員　五名
資格　本会々員で都道府県連、支部、地区責任者の推せんする者で日本舞踊、歌唱等ができる者四名一組で応募すること。
経費　約二十三万円（旅費、宿泊、手続き経費を含む）
申込み　履歴書、戸籍抄本、写真五枚に申込金一万五千円をそえて本部事務局に申請する。
〆切　十月三十日まで必着のこと。
団員発表　常任幹事会で審議の上十一月号の機関紙および本人に直接通知する。

新生活運動研修会

八月二十七日（金）から八月二十九日（日）まで、福島県磐梯友愛山荘で本会主催、第八回新生活運動研修会がおこなわれた。

研修会には関東地方と東北地方の会員が出席し、本部からは奥田吉郎副会長、尾形智矩幹事長、早川広中常任幹事（国際部長）が講師として出席し、辻谷勝弘幹事（情報宣伝部長）、長田正太郎幹事（地方対策部長）がスタッフとして参加した。

新生活運動の思想を広く普及するのに功績のあった本研修会は、近畿ブロックの京都を振り出しに全国八ブロックを廻り、東北ブロックの磐梯友愛山荘でその打ち上げになった。しかし、こういったブロック別の研修会は残しておくべきだとの声もあり、何らかの形でこの研修会も続けられて行くようである。

第一日目は開会式から始まり、尾形幹事長、清水文夫福島県連会長の挨拶があり、磐梯友愛山荘吾妻充管理主事よりオリエンテーションがあった。三時から尾形幹事長の「組織の進め方について」の講義があった。組織の定義付けから入り、他の組織と比較しながら本会の組織を浮き彫りにし、組織活動のすすめについて解りやすく講義された。

夜は昨年おこなわれた東京オリンピック世界青少年キャンプの記録映画「世界の若人よ高らかに歌え」を一般のホステラーと共に楽しんだ。

二日目は講師の都合で八時から十時まで尾形幹事長の進行の下に、友愛活動全般について討議をおこなった。十時から十二時まで「観光地における新生活運動」と題して、磐梯山の観光を中心にして、厚生省国立公園局指導員の大森常三郎先生から講義があった。

午後からは「友愛運動と国土美化運動について」、奥田吉郎副会長から、西ドイツ、オーストリア、フランス等の国土美化問題もおりまぜ、新生活運動の起こりから国土美化まで講義された。そしてオリンピック後の国土美化に対しての心構について話された。

夕食後は一般ホステラーも含めて、山荘の、吾妻管理主事の指導の下にキャンプファイアーをおこなった。

三日目は、吾妻充管理主事の指導の下にゲーム指導をおこなった。ここへ来て参加者は十年の旧友の如く親しくなり、友愛山荘スタイルのゲームの真髄に接した。

十時より、十二時までは「友愛理論と国際問題について」と題して早川広中常任幹事（国際部長）の講義があった。

十二時楽しい雰囲気のうちに閉会となった。「全体を通して、研修会の内容に不足は無いように思われるが、聞けば本部の連絡のミスもあったようであるし、本部の反省を求めたいが、友愛活動をすすめてゆく上に集った会員の少なかったことに不安をいだくとともに会員諸兄の猛省を促がしたい」という参加者の意見があった。

友愛婦人会

鳩山会長を訪問

バスハイクで軽井沢へ

友愛婦人会（会長＝鳩山薫）では去る八月十七日早朝より会員の親睦のためのバスハイクを二泊三日の行程でおこなった。

第一日目は軽井沢友愛山荘に宿泊し、翌朝は鳩山会長の別荘を訪問、会員とともに軽井沢の澄んだ空気と爽やかな景色の中で楽しい懇談の一時を過した。その後再びバスに乗車、参加者が六十四名だったのでバスも満員であった。その夜は伊香保温泉〝山仁ホテル〟に宿泊して、西木まさ子幹事長の挨拶で懇親会を開催、歌と踊りで温泉の楽しさを味った。

帰路は、途中の景色とお寺等を訪ねて、全日程を終了した。

なお、当初の計画では二班にわけて旅行する予定だったが、参加者の都合で、一班のみで実施した。家庭の主婦としては時間の都合がむづかしいと思うが、是非都合をつけて、今後の友愛精神を基調とする各事業に大いに参加するよう希望している。【写真は鳩山会長と軽井沢別荘で】

軽井沢で
鳩山会長を囲む

鳩山一郎先生を偲ぶ会

昭和三十九年十月七日に鳩山一郎先生御夫妻銅像建立会の手によって護国寺に建てられた銅像が一周年を迎えるにあたり、次のように記念の会を開催することになった。

日時　昭和四十年十月七日
午後二時〜四時まで
場所　護国寺本堂
会費　一、〇〇〇円
主催　友愛青年同志会
友愛婦人会
地元有志代表
秋本平十郎

直言

◆全国的に夏期に企画される事業は、それぞれ沢山あった。本会にとっても夏期事業は全国大会で決定された通り無事終了した。全国の各組織においても多くの事業が実施され、会員の親睦と将来の礎石となる成果を得られたことと思う。

◆今年度は内部充実を第一の方針として掲げられてきたわけであるが、この目的が当然各事業の中に盛り込まれるとともに、その成果が会の運営面に現われるべきであろう。しかし今日実施したから明日にわかるというものではなく、来年度かあるいは二年後三年後に大きな成果として我々の目前に現われると思う。

◆従来本会が企画してきた各種事業も決して満足できるものばかりではなかった。準備の段階においても、執行部で散々研究しながら結果はあまり明確な成果は得られなかったものもあった。しかし、これらの経験は無駄ではなかったのである。今日おこなわれる研修講習会の方法も、移動文化映画班も、それなりの姿を整えながら、再び次回への反省となり希望となって一層の意欲にかられるのである。

◆一般的にいわれるマンネリ化は誰もが経験したことと思う。それはマンネリではなく、研究する段階の一課程だと見た時、我々はもっと真剣に目前にある自分の仕事の確実性と効果を考えなければならないのではないか。

◆本会はまさに内部充実のための研究課程に一歩足を踏み入れたのである。一人一人の協力と充実した前進を願う時、各組織はもち論のこと、全国会員諸兄姉の友愛の情熱が再燃せんことを期待せざるを得ない。

◆国際情勢は我々の毎日に大きな課題を提供してくれるが、無関心であってはならない。我々の意とするところは、世界の平和と友愛精神に充ちた人類の交流はもち論のこと、本会の更に希望する友愛思想と友愛社会の実現が将来のあらゆるものを解決してくれるものと思う。日韓条約の問題、ベトナムの問題、ベルリンの問題などはあきらかに、明日の平和への道として解決を望みたいものである。

訪独青少年友愛代表者座談会

かねてより日独青少年交歓による訪独日本青少年代表団の派遣について、全国の青少年はもとより各官公庁および各界関係者からその成果が期待されていたが、去る八月十三日に無事使命を果して帰国した。特に本会を代表して派遣された会員も各訪問地においてそれぞれの任務を果し立派な誇りをもって帰国したものである。ここに会員の体験を座談会のうちに報告として掲載し、全国の青少年に供するものである。なお本会関係者の一部の会員はテレビおよび関係誌にそれぞれの報告があったものもあって全員の出席はなかったが、これからの青少年活動の主軸になる人達の意見と希望を味って全国会員諸兄姉とともに将来の糧としたい。

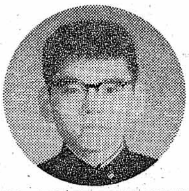
親日的なドイツ人

青少年に集団生活を徹底

出席者

副会長　奥田吉郎総監督
幹事長　尾形　智矩監督
会員　阿部　馨子団員
会員　金子　文隆団員
会員　山本　和久団員
会員　峯　英司団員
会員　奈良岡とく団員

奥田　今日はどうも御苦労様ですドイツの訪問を終って色々と感想があると思いますが、最初にドイツの青少年と青少年活動をどのように見たかということを主体に話をすすめてみたいと思います。



山本　帰国してから感じたのですが、全体的に日本の青少年とくらべると青少年自身が積極的に青少年活動に参加しているのが感じられました。

奈良岡　そうですね。ドイツの青少年活動は日本より普及率が高かったようですね。ほとんどの青少年が毎日の生活にとけこんだ活動をしていて、日本だとはいりにくい感じをもちますがそれがありません。そして非常に広い層の青少年が参加していました。

金子　僕は去年オリンピックの時に来日したギムナジウム（高校生位）のエルゲフライテさんと友達になり、ドイツで会ったんですがわずか十ヵ月の間に日本語がすごくうまくなっているので、なぜだと聞きますと、日本語をマスターして素晴しい日本へまた行きたいのだといっていました。それは日本人の人情が忘れられないのだそうです。僕たちはドイツが素晴しいいい国だと思いましたが、同じようにドイツ人は度が過ぎる程親切だと思いましたね。

阿部　私もバーベルシェファという少女と友人になり、ドイツのギムナジウムで授業を一緒に受ける機会がありました。朝行きますとテストだといって幅飛びをやっていました。普通の授業は詩と数学と英語を受けましたが、全員の雰囲気がすごく楽しいんです。日本のように学校から教えられるのではなくて、自分から積極的に学ぶ態度で一生懸命でした。それから彼女も非常な親日家で日本の印象が忘れられないといっていました。彼女の部屋は日本の提灯やせんすそれに習字や急須等が飾られていました。将来は日本で体操を教えるのだといっていました。それにドイツの青少年は小さい時から集団生活に馴れているのではないでしょうか。

山本　そうですね。僕はドイツで初めてキャンプ生活をしたんですが、年令の差別もなくて、皆が楽しく扶け合った生活をしているので大変良かったと思いますね。

峯　それからドイツの青少年は体力がありますね。そして良く食べますね。ドイツには徴兵制度がありますから、常に戦争ということに危機感をもっていて、米ソの対立に中共が加わって、2対1の対立になった時、第三次大戦がおこり得ると考えているようです。

尾形　これは会合での話ですが、非行青少年の問題を聞きましたが明確な答が得られませんでした。あとで良く聞きますと、戦後の傾向として、日本を含めて世界のどの国でも社会問題となっているようです。ドイツはこのような問題に対してどのような努力をしているか聞きましたところ、青少年のための施設をいっぱい作っているようです。これは青少年に一つの目的を持たして規律と道徳のある集団生活を体験させることが必要だということですね。本会で言えば友愛山荘ということですね。これは連邦政府と州と市が一体となって施設を作り、ここには指導者をつけると同時に指導者の養成もすることになっています。我々も西ドイツに行った時青少年と会いたいと希望したところ、夏休みなのでほとんどの青少年は家にいないで野外活動に行っていて、それが日本のように勝手に行くのではなくて、一つの大きなキャンプ場ができていて夏の間指導者が教育にあたっている。子供の頃からこのような訓練を受けているようです。日本もこうした施設を沢山作って青少年の野外活動を振興させた方がいいと思いますね。

BAYERISCHER
LANDESSPORT-
VERBAND
BLSV

健全な生活態度

国際水準を行く鉄工業

奥田　では次にドイツの現況ということで、ベルリン問題とか経済工業・政治・農業等に進めてみたいと思います。

峯　僕達は鉄工所を二ツ見たわけですが、施設面では日本と同じですね。向うの方がクレーン等は大きくて余裕があるような感じです。労働者は日本の場合若い人が多いですが、向うでは年長者が多いようです。ドイツでの問題点はやはり若い人が重労働をきらって年長者ばかりで人的補充ができないようです。

金子　僕は鶴見の造船所で働らいています。造船所ではクレーンを見ながら視察したわけですが、日本は設備の点で劣っているとは思いません。ただ不況だといわれている造船が、ドイツでも、英国が十六万トンタンカーを四隻発注した時、日本が三隻、一隻はドイツが受けています。労働賃金が高いといわれながらも日本と対等にやっていけるというのは、労働力以外で頭を使っているのではないかと思われます。世界一位といわれている条件の良い日本も謙虚な気持で造船技術を延ばして行けたらと思います。ただ日本の進歩は一年位で他の機械水準に達する方法をとるし、ドイツではそのために三年位の研究時間を持つというドイツ魂を感じます。

奥田　家庭生活は豊かなのかどうかということで如何ですか。

阿部　そうですね。着るものなのですが、一般に物価は高いんですでも私と一緒だった女性は大変良いものを着ていました。年寄りはあまり良くありませんが、若い人達は大変なおしゃれで細かい所に神経を使っていますね。それから女性の立場から見ますと食事の準備や後片付けに時間をかけずに、あまり御馳走はありませんが、簡単にして食べるのに楽しく食事をするのは日本人より優れていると思います。住む方では家具調度などは良いものではなくても古くからあるものを大切に上手に使われているし、装飾品も自分達の生活を楽しむために工夫されていると感じました。

山本　生活はのんびりしていますね。特に食事の時間は二時間くらいかかりますからね。それから公私の時間がはっきりしていますね。ウインドショッピングなどでは朝九時から十二時までと二時半から六時まで開店していますが、その他は閉店の時間がきたら売らないというはっきりした区切りがあって日本では考えられないですね。

奥田　それではドイツ人の性格は語り尽くされていますがどうでしようか。

山本　愛国心が強いですね。

金子　僕は年とった人に、ベルリン問題やドイツ統一ということがあるから青少年の愛国心は強いでしょうねと聞いたんですが、一番問題になっているのは最近の青少年は愛国心が少いということだそうです。そのために青少年の育成活動等を強化しているのに君は反対の見方をしているねと云われました。表面に見えない心の中にドイツという誇りをもっているんですね。そしてドイツの統一ということが話の中にも出てきます。だから普段の生活には現われないけれど、強く心に持っているように思いました。

峯　僕の会った友人はドイツ人は愛国心が強いと云うがそうは思わない。日本人と同じように自分の生活をエンジョイし豊かな生活と物質的なもののために一生懸命働くが国のために働くと云う意識をもって働いているものはほとんどいない。物質的には恵れるが愛国心とは関係ない。これは問題だと思うし若い人達には希望がない。そういう意味では日本人の方が愛国心が強いじゃないかと云っていました。

奥田　従来日本でいわれてきた質実剛健が印象のようですね。頑固で正直で　真面目ということですね。戦後の青少年は峯君もいっていましたが、ドイツ的な気慨はもっているが変ってきたことは事実ですね。これは世界的に共通でしょうが　民族とか国家と　いう意識が、自分という意識と世界とか国際とかに変ってきたからではないでしょうかね。

峯　日本人と良く似ていますね。

奥田　それでは日本にもどって日本とくらべたらどうでしょうか。

峯　一番良いのは日本語が通じることと飯がうまいですね。最初の一週間ぐらいは肉なんかあって良かったですね。そのうちまた同じかということになってしまいましたね。

峯　向うはきれいですね。花も芝も手入れが良くてこれは国力の差ではないかと考えたんですがね。一つ安心したことは観光地はよごれていますね。自分のところは愛するが観光地は別なんですね。これは日本と同じだと安心したんです。

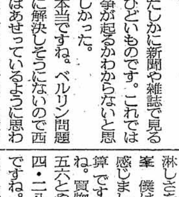
阿部　日本を知らない人にドイツはきれいですねといいましたら日本はこんなにきれいではないんですかという逆の質問を受けたんです。勿論日本もきれいですといったんですが……日本人の性格として自分を卑下して相手をほめるという感覚は　ドイツでは　通じません。自分と同じくらいあなたもきれいですというほめかたが一番好まれますね。結局「お母さまが作ってくれたお食事と同じくらい美味しいです」という言葉が向うにあるのと同じようにそういう国民性だと思います。

緑の中の美しい町

親善とベルリン問題に矛盾

奥田　それでは次にベルリン問題について核心にふれてみたいと思います。ベルリンの壁を見た印象はどうでしたか。

奈良岡　想像以上に深刻でした。自由ということをよくいいますがドイツの人は深く考えていますね実際に東ベルリンの人達は束縛されていますし、壁はたいして高くないのに親類同志で年に二度か三度きり会えないということは悲しいことだと思いますし、他方私達がキャンプした時には違う民族同志が涙が流れるぐらい親しくなったのにこの矛盾が深く印象に残りました。このベルリン問題は我々青少年の手で解決できたらと思いました。



山本　たしかに新聞や雑誌で見る以上にひどいものです。これでは何時戦争が起るかわからないと思って恐しかった。

奥田　本当ですね。ベルリン問題は簡単に解決しそうにないので西ドイツはあせっているように思われました。西ドイツではこの壁を多くの人に見せて実情から国際与論を起させるように考えているようですね。それでは次にドイツで一番思い出深い話をしてくれませんか。

金子　ドイツへ行ってドイツの人達と同じ釜のパンを食ってきたわけですが、家庭生活を四日間体験して自分の考えていた通りの家庭だったので忘れられません。これからは自分の将来にプラスになるようにこれを生かしていきたいと思っています。

尾形　やはりベルリンの壁を見た時ですね。イデオロギー以前の問題として、人道主義的にこのようなものが許されるものではないという怒りを感じました。それから人為的に作られたあいうものは将来必らず歴史の審判を受ける時がくるということが第二番目です次に人間はあさましいものだと思いました。あの人間の悲劇が観光地になっていましたね。これはどこでもそうですが朝鮮の三十八度線もそうですね。言葉にいえない淋しさを感じました。

峯　僕は街がとても美しいことを感じました。それから向うには掛算　ですか九九　がないらしいですね。買物する時に日本ではシチハ五六とやりますが向うでは七・十四・二八と順にプラスしていくんですね。五六だと教えても信用しないんです。計算能力は日本人の方が上のように思えますね。汽車にも乗ったんですが、車掌が計算器をぶらさげているんです。これをガチャンとやるんです。間違えたのを教えてもなかなか直さない頑固もあるんですね。それからすごく親日的で第二次大戦のときにドイツより日本の方が終戦まで頑張っていたことに尊敬のような気持をもっているんですね。それから僕はカメラをタクシーの中に忘れたんですが、商売道具で困ったなと思っていたら運転手が届けてくれたんです。向うはドイツ語、僕は日本語でお礼をいったんですがとてもありがたかった。

阿部　私はドイツといわれた時緑の中に街ができて花が美しいと同時にベルリンの壁の悲壮な雰囲気が浮びます。民族が違うのにあんなに仲よくなって別れるのがつらいくらいになったのに、同じ民族が一緒になっていることが許されないのが、あらためて政治の力によって別れているわけですから悪い意味で政治の力の偉大さを感じました。家庭生活も自分達が楽しんで貧しいながら余裕のある毎日を送っているし、自分から積極的な生活をしているように感じました。

奈良岡　親日家が非常に多いと思いました。雨の日に教会へ行った帰り道に雨宿りをしたんですけれどそこで新聞記者に会いましてお話しているうちに是非家に来てくれということで行ったんですけど色々な写真とか趣味とかを見せて下さいました。日本が好きだから機会があったら是非行きたいといっていました。皆さんが心から親切にしてくれるのをうれしく思いました。

山本　僕は潜入感をいれないで白紙で行きました。ベルリンは印象に残りました。それでバス旅行の途中で見たのですが、乗用車の後にトレーラーをつけて週末に家族中で旅行するのが羨しかった。

来年は百名を招待

青少年の交流で平和確立

奥田　それでは最後に来年はドイツの青少年を百名招待しますし、皆様もドイツの経験を生かして今後の青少年活動に或は日独親善又は個人の生活の上にどのように取り組んで行くか、このようなことを一言づつ聞かせて下さい。

金子　来年ドイツの青少年を招待した時に僕達の受けた何分の一でもお返しできたらいいなあと思い自分で勉強しようと思っています

山本　僕は向うでスケジュールや時間の関係がくるって自分達が不愉快になったことがあったので、そのようなことのないようにスケジュール通り気持よく旅行させるのが一番の御礼じゃないかと思います。それから民泊は沢山あった方がいいですね。

奈良岡　日本の青少年活動ももっと多くの人に気軽に楽しまれるようにしたいと思います。

阿部　一人一人の力は小さいけれども沢山集まれば強力なものになるし、世界の一人一人が手を結びあって絶対第三次世界大戦を作らない。大きなことですけれども小さい下からの力によって世界平和を保って行きたいと一番強く感じました。

峯　来年日本に来たら団体行動ではなくて四五人位にして、なるべく自由行動を多くして観光地は少くして勝手に街に出してあげたいと思います。青少年でも特に学生でも一般の人と話をするチャンスを与えてやったらと思います。それから民泊するときにはお客さん扱いを　しない方がいいと　思います。

奥田　そうですね。親しい友人を自分の家に呼んできたという感じで、普通の生活をした方がいいですね。

山本　僕は向うへ行った時向うの青少年が少いように思いましたので接待役は多勢いた方がいいと思います。

奥田　どうもありがとうございました。皆様も友愛の仲間から選ばれたわけですから、ドイツで得た貴重な経験を今後の友愛の集会の際に身をもって教えたり話たりして、友愛活動により一層努力して頂きたいと思います。なお来年ドイツからきました時には今伺いました貴重な意見を生かしながら日独親善に努めたいと思います。特にスポーツ交歓ですから日本の青少年活動又はスポーツ活動の発展のために努力したいと思っております。どうもありがとうございました。

【写真は西ドイツの青少年野外施設】

沖縄に友愛の手を

常任幹事　田中祥子

東京都支部連合会（会長＝柳沢定勝君）の夏季行事の一端としておこなわれた友愛文化使節団沖縄派遣は、八月十日、十一日十二日十三日の四日間にわたりおこなわれた。

十日、一行四名は羽田発の司公航民で一路沖縄を目指して出発した。

当初の予定では、六名位の参加者を考えたが、茶道部員の間でも、職業の都合上時間が自由にならず、山田樵藤先生、田中初枝氏、中条喜美恵（茶道部）それに私の四名に決ったのは出発の二週間程前になってからである。

この一行が那覇へ到着したのは定刻より二十分遅れた五時少し前である。

税関を通って外へ出ると、全然予期もせぬ多くの人が出迎えて下さったのにはいささか驚かされる準備の段階では出迎はおろか果して茶に依る交流が上手く行くのかどうか心配されたからである。この出迎えて下さった人数を観て私の中に出発する前からくすぶっていた心配はすべて取りのぞかれた

空港ロビーで沖縄健青会々長友利氏が代表して歓迎の言葉を、次いで遺族会の方々、沖縄青年協議会の方々が自己紹介を、私達も自己紹介をし簡単に訪問の目的を伝えた。

この方々の案内で第一日宿泊予定の日光旅館へ行く、これからの日程について打合せた結果、初めに予定した通りでは「盆」が重なって交流がスムースに運ばぬとの事だったので、一部予定を変更してその日から交歓会という事になった。そこで会場は日光本館の桃の間とし、くつろぐ間もなく、菓子も間に合わないので持参の甘納豆だけで茶に依る交歓会を開催した。

まずは卯の花点という茶を披露し次に地元の代表二名に茶を教えた。大変熱心でこれを機会に沖縄の青年団体の間にも茶道サークルを作り茶会を開きたいと云っていた。当地は花は多く知られ習っている人も少なくないようだが茶道の方はまだ一部の奥様達の間で知られる程度で、それも私達が知るところの茶道とは型式も違い行き方も違う性質のようであった。

しかし調べて頂いたところでは裏、表両千家が入って来ているようで、自分の目でみたのではないのでハッキリした事はいえないが時間があればくわしく調べられたろうが今回はそこまではできなかった。

地元の人達の熱心さに時間をすっかり忘れていたが、九時を回ってしまい、この日の参加は女性が多かったので話も途中で交歓会を閉じた。

私達もこのあと旅装をとき沖縄訪問第一日目を終った。

十一日、この日私達は南部戦跡へ花を献上する事になっていた。花をそなえたい旨を前の日に地元の人にお話しすると、是非そうしてほしい、皆も嬉ぶ事でしょう。ついてはこの旨を沖縄にある二つの新聞社で取り上げてもらおうではないかという事になり一行は出発する朝沖縄タイムス社及び琉球新報社を訪ずれ、沖縄へ来たのは日本に古くから伝わる茶道を持ってこちらの青年達と交流するためである事、南部戦跡へ花を献上したい事などをかいつまんで説明した。しかし旅先の事ではあり充分な花材も ないので「ひめゆりの塔」のみであることもつけ加える。ひめゆりの塔へ行く途中沖縄の代表的な墓を見学する。私達のみなれたそれとは異り石だけで出来た窓が全然無い家という感じである

塔へ着くと沖縄タイムス社の記者が先に来て待ちかまえていた。日頃は参詣者でごった返すところだが盆であるにもかかわらず二・三名の人が居るだけ、私達にとっては大変好都合で仕事がやりやすかった。塔の前方に石造りの花器がある、この右端の平らなところへ自然石を拾って来て剣山の替りとし水を必要としない近代花を活ける花と私達を写真に取りタイムス社の記者は帰った。明十二日の朝刊に記載されるそうである。

大役を果して一行は令命の塔へと向う、この塔は島の最南端の高台にあり、ここから下を差しのぞくと、今だ霊のねむるジャングルを一望することが出来る。ここに冥福を祈ってのち守礼の門等を見学して帰路についた。

十二日午前中に第二宿泊予定である琉球 東急 ホテルへ移り、このロビーで「多良一」（たからはじめ）という人に逢った。私達の話を聞き 出来れば専属 の先生を一人でも迎えて沖縄にも広く茶道を広めたい、当地へ永住する気持でそれに当り途中で止めぬよう年令もある程度とった人で、結婚している人にかぎると、それは若すぎると経験もであるが、途中で挫折する心配があるからだそうだ。しかしこれはすぐに返事の出来るものではないので実現すればよろしいですねという事で別れた。

一時より同ホテル日本間にて参加者多数のもとに第二回茶道に依る交歓会を開催した。始めは当方で盆点前をおこない、第一回目に教えた人が復習し、新たに今日から始める人に教授する、四名が大汗を流して全部を済ませた時はすでに日は西に傾き、舟も港へ引き上げる頃になっていた。皆で手分けをし道具を片ずけ、海へ続く庭へ出て沈み行く日を惜しみながら茶道の歴史、沖縄各地々名の由来山田先生の体験談等で共に語り又の再会を約してこの日の会を閉じた。

夜、健青会事務局長松堂氏をまじえて沖縄古来の舞を見学、夕食を共にした。

十三日、朝六時半出発、北部の読谷（よみたん）婦人会と第三回交歓会の予定。

会場へ行く途中県教育課を訪ずれるが盆休暇のため会う事は出来なかった。その他パイナップル工場見学、古い式でおこなわれる舟まつり、この島にただ一つの鍾乳洞等を見学する、戦時中この洞ないに二千名からの人が避難し助かった話、目のない魚が住んでいる事、暗いところで光るこけ、行く先不明な地下水の話等を合せ聞く読谷ではすでに婦人会の会員が待ちかまえていた。私達は用意する時間を惜しんで会場へ健青会の友利氏が私達を紹介して下さり会は始まる、私達の茶を披露するばかりでなく、友利氏が覚えたての茶を披露し婦人会の喝采をあびる。二回の教授でもこれだけ出来る事を目のあたりにした婦人会は大変熱心になり是非教えてほしいといわれたが時間の都合で大変申しわけなかったが私共のいう割げいこをして、茶の飲み方を完全に覚えて頂いた。茶についても自由に質問して頂いた。

中に足についての質問があり紹介した。自分は内地へ行った時足を笑われた、それでも茶は点てられるかということだった。

おそらく足袋等あまり必要としないこの地では指が外へ向いていてもそれが当然なので－茶を点てる時は足袋をはく極りだ－、足袋を使用すれば足の欠点はかくせるのであるから一向さしつかえないと思う等真剣なやりとりだった。

盆であり主婦は一番忙がしい時に多数参加下さった事を感謝しつつ読谷とも別れをつげたのは六時を少し回っていた。

ここでの交歓会風景もタイムス社の地方版に掲載されるそうだ。その日は私達が帰ったあとになるようだった。

以上で予定の全部を終らせたがまだまだ行きたいところが残っており出来れば一週間位滞在を引き伸ばしたいところだった。

十四日、首内を少し観光し、午後二時四〇分発の全日空で鹿児島へ向け帰途につく。

最後に、地元の人は一日も早く友愛の支部が沖縄にも出来るように望んでいて、くれぐれもこの事をいわれて来た。支部づくりにはどんな事をしても骨を折るといってくれたので心強く飛行機のタラップを踏んだ。

【写真㊤はお茶会風景㊦はひめゆりの塔前で献花する】

友愛移動文化映画班

組織の上の事業を

幹事　長田正太郎

本年で十二回目を迎えた友愛移動文化映画班は、友愛思想の普及、地方文化との交流及び、地方青年活動活発化への刺激剤となると同時に、組織面での大きな使命を荷負って、東北（既報）四国方面を巡回した。

四国班は地方対策部長、長田正太郎幹事を責任者とし、技師に関東学生部・幹事秋田昌晴君、記録に関東学生部小川雅生君の三名で構成され、組織のある所と、未組織地区を巡回し、その使命を果して、八月二十三日帰京した。

去る八月十四日（土）より、二十三日（月）までの十日間、友愛移動文化映画四国班は「東京オリンピック世界青少年キャンプ」「首都東京」「躍進する中京電機」の三本のフイルムをもって四国を巡廻した。その日程と概要は次の通りである。

八月十四日（土）東京発

八月十五日（日）香川県高松市

高松市は折からのお祭りで市内からかなり離れた屋島ユースホステルにて映画会、懇談会をおこなった。丁度高松女子高の書道部の生徒八十名程が合宿していた。

映画会の後、高松友愛山荘管理所長土井昭道氏より友愛とユースホステルの説明があった。生徒は東京オリンピック世界青少年キャンプの映画に大変感激し、同世代の世界の若人が集まって共同生活しているところは実に感銘深かったこのような映画会は初めてであったが素晴らしかった等の発言があった。またユースホステルの話題、男女交際の話、青少年の非行化の問題等の意見が交わされた。

八月十六日(月)徳島県三加茂樹木のきれいな吉野川の中流で、林業と農業中心である山間部の多い三加茂町での映写会は、公民館の定員が二百人であるにもかかわらず、それを越えて数多くの人々が集った。公民館長、社会教育課主事、松浦氏の御尽力によって映写会の後 の懇談会には 女子二名を含む二十名程の青年団の方が参加した。話題の中心となったのはやはり、青年の都会への移動であった。しかし、経済機構が定まるまでは離農もやむおえまいとして、残った人達で、住みよい町を作るため前向の姿勢をとっていきたいと意欲的であった。そして、青年学級、新妻学級を中心とした三加茂の青年活動は徳島でも活発な活動をしている。しかし、日青協の状態は自分達にとって決して満足のできる状態でない、もっともっと中央団体との交流を強めてゆきたいという意向を述べていた。

八月十七日（火）高知市

県立視聴覚ライブラリーにて映写会をおこなった。会員をはじめ青年団－三つのグループに分かれている－、高知県で海外に行ったことのある人達によって作られている海外研究会のメンバー等がおよそ四十五名程集った。懇談会では支部結成の間近い高知市にて、友愛の性格を中心とした話しがおこなわれた。懇談会終了後、会員の人達十名と支部結成について打合せをおこない、十一月下旬に支部結成をもってゆきたい意向であった。

八月十八日（水）高知県中村市

高知県ではまだ会員も少なく、河村効子さん、明神登美子さん等を中心として支部結成の準備にかかっているが、未組織の所ばかりである。そこで、市の河村効子さんが中村市まで映画班に随行した。

映写会は公会堂に四十名程の人が集り、それぞれ懇談会において青年団、理容師会、商店会の活動報告があり意見を交換した。なお、随行した河村さんは懇談会に入る前に政府青年海外派遣で昨年アメリカ、カナダを回ったときの報告をおこない、翌日は会員の紹介を受けるべく中村市で社会教育課にいった。

八月十九日（木）愛媛県宇和島市。愛媛県では二会場を予定していたが、松山市から受け入れができないとの連絡があったので、宇和島のみであった。

連絡が充分とれていなかったため、映写会に集まる人が心配であったが、公民館に会員および青年団、近所の人が、四十名近く集まった。

八月二十一日（土）香川県高松市、再度高松市を訪れ市の公民館第七会議室に、会員、青年団、近所の方および高松友愛山荘のホステラーおよそ四十名程の人が集まり映画会をおこなった。友愛の説明後、お互の活動状況について意見の交換をおこなった。

八月二十二日（日）大阪府箕面市。関西学生部、玉川伸也君等の協力により、市の若葉子供会々場に八十名程の小中学生を集めて映写会をおこなった。

八月二十三日（月）無事帰京、全日程を終了したわけであるが、当初心配していた事が現地での協力により難なく解決できた。

「初めての移動文化映画班であり、地元 の人に喜ばれて 感激している。今回は今までと 違いキャンプの映画をはじめ文化映画のみなので、ある程度青年層に対象がしぼられたと思う。集まった人も青年層が多く、地方活動の悩みについて直接の意見を聞けたことはこれからの活動にとって大きな参考となった。また、秋田、小川両君もテキパキと働いてくれたし連絡の面で多少のミスがあったが大体成果が上がったのではないか今回廻ったところは都会地が多かったが、四国内において、県単位でそれぞれ、政治、経済面で差もあり事情もあることがわかった。

しかし、我々が考えていたよりも、青年の人は地方に生き甲斐を感じているようだし、それぞれ立派な生活をしている。生れた土地に結びついて、それを当然のこととして生きてゆく、生活してゆくのをみて友愛思想がその生活の中にくいこんでゆく余地は非常に可能性のあることだと思った。各地でお世話になった方々に厚くお礼申し上げる。

登録商標
味の素株式会社
本店　東京都中央区宝町一の七
支店　大阪・福岡・名古屋・札幌
営業品目
「味の素」・「アジシオ」・「ハイ・ミー」強力「味の素プラス」・小麦澱粉・「直分解味液」・サラダ油・天ぷら油・コンソメスープ・クリームポタージュ・脱脂大豆・レシチン・苛性ソーダ・晒粉・液体塩素・テックス・L－リジン他

全国にひろがるサービス網
札幌　東京　横浜　名古屋　京都　大阪　神戸　岡山　広島　小倉　福岡
駐在員事務所　ロンドン・ニューヨーク
あなたも　わたしも
神戸銀行

信託併営
大和銀行
本店　大阪市東区備後町2丁目
店舗(国内)全国各主要都市110余ヵ店
(海外)ロンドン・ニューヨーク

全国各都道府県庁所在地に必ず支店のある我国唯一の銀行
日本勧業銀行
本店　東京都千代田区内幸町一丁目
電話　(五九一)　三五一　四六一　六六一

東京都内三三ヵ店
東京都民銀行
頭取　工藤昭四郎

地方だより

熊谷支部　キャンプを開催

体位向上と野外活動に集中

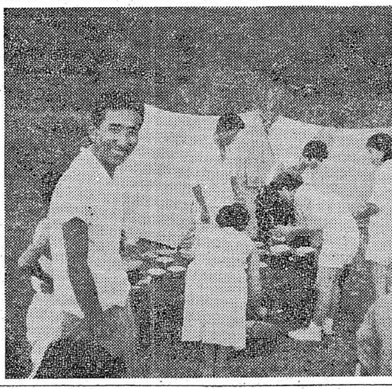
【熊谷発】熊谷支部（支部長＝根岸啓介君）では八月十四日より十五日まで一泊二日の日程で「熊谷支部友愛サマーキャンプ大会」を秩父浦山キャンプ場にて開催した。

このキャンプ大会は、熊谷支部では初めての試みであり、キャンプをどの様に運営していったら良いのかわからなかった。しかし、会員の協力によりキャンプ大会をおこなうことが出来た。

当日の参加者は三十人ではあったが、はんごうでのごはんやおかず作りでてんてこまいであった。山で食べるごはんは、また、格別の味であった。

夜は、参加者全員で、キャンプファイヤーをおこなった。キャンプファイヤーを囲みながら、歌を歌ったり、ゲームをしたり、フォークダンスをしたりして楽しい時を過した。

朝、キャンプ場の片付けが終った後、参加者全員「友愛の歌」を歌い、短かかったが楽しい一日の思い出を胸に帰途についた。



山口支部のキャンプ場風景

山口支部　キャンプを実施

働らく青少年野外の集い

【山口発】山口支部（支部長＝田中文人君）では八月十四日（土）～十五日（日）まで「青少年野外の集い」を防府市田之浦キャンプ場で矢野テント株式会社の後援で開催した。

参加者は、スタッフを含めて二十九人であった。

八月十四日午後一時に矢野テント前に全員集合、一時十分には、キャンプ場に向けて出発した。午後三時にキャンプ場に到着、人員点呼、キャンプ設営指導を五時半までおこなった。五時半から全員夕食の準備にかかり、約一時間でレストラン並の夕食を作った。皆楽しく歓談しながら夕食を食べた。八時からは、キャンプファイヤーをおこなった。キャンプファイヤーの儀式をおごそかにおこなった後、参加者全員で「友愛の歌」を歌って幕を切っておとしたキャンプファイヤーを囲みながらスタンツ、フォークダンスや歌を歌ったりして十時にキャンプファイヤーをおわった。それから一時間程後片付けをして、就寝した。

八月十五日は、六時に起床し、直ぐに朝食の準備にかかった。六時半からはラジオ体操をおこなった。七時からは全員揃って朝食を食べた。八時からは、ゲストを囲んで座談会をおこない、集団ゲームのやり方、歌の指導、野外生活の指導等について楽しく語り合った。十一時から昼食準備にかかり十二時に昼食を食べ、一時から四時まで、ゲームやスイカ割等をして楽しい時を過した。五時よりキャンプの閉営に入り、閉会式をおこなったのち、七時に山口に到着参加者は家路に向った。

一放言談

青少年育成の母体

常任幹事　佐々木恵美子

早いもので入会してから足かけ八年になりました。

その間に友愛も十周年を迎え、近頃の進歩発展は目覚しく自分の立ち後れを知らされ戸惑っている昨今であります。

戦後女性の置かれている立場は急激に変化しその状態は良きにつけ悪しきにつけ目を見張らされるものがあります。よく聞く言葉に〃戦後強くなったものは女性と靴下〃というのがあります。かって男性だけの舞台であった職場に進出し権利、義務の主張、家庭にあっても必要とあれば割烹着にたすきがけ、しゃもじを持って抗議する有様もこの頃では目新しくはありません。これが良いとか、悪いとかいうのではありませんが、もう一度考えて見る問題もあるように思います。私達女性は良い意味でだけの強さを持ったのでしょうか、そして〃戦後強くなった――〃という言葉に揶揄が含まれていないといい切れるでしょうか。話が飛躍いたしまがす近頃特に問題になっている青少年の不良化について、環境が悪いとか社会が悪いとかいわれますが、聞くところによりますと中流家庭の子弟もかなりいるということです。経済的にも安定し恵まれた家庭環境の中で育ち何故悪い道を歩むのでしょうか？　家庭内での子供の教育は父親より母親の占める範囲が大きいようであります。母親の考え方一つで左右されるということもなきにしもあらずです。家庭という城の中では若様、お姫様でも一歩外へ出ればドングリの背くらべ、しかも社会の移り変りはここにも影響しています。学校の先生やかっての修身にあったような親の教えだけでは解決出来ないものがありましょう。

この場で持つ子供の立場の理解や指導のおこたりが青少年不良化の一つの原因になっているのではないでしょうか。学校や家庭とは異なり、しかも一般社会により近い環境をもっているものといえば私達のような会が一番近いように思います。最近女性会員も増えつつありますのでこういったことに関心を持っている方もあると思います。しかし結婚すれば青年団体の活動が出来なくなると考えている人達も多いのではないでしょうか。私自身そう思ったこともありましたが、先日政府の海外派遣で、オーストラリア、ニュージーランド等をまわりその考え方がまちがいであることを知りました。それは、メルボルンの郊外にありますボロニュースクラブを訪問した時ですが、ここでは小学校から高校生までの子供達が年令別に分けられ、学習やスポーツをやっております。そして月に一、二回、両親と共にバーベキュー用の肉や野菜、パン等を持ちより星空のもとで食事をしながら話し合いゲームや歌をうたっています。この様子を見た時、私達に足りなかったのはこれだと思いました。学校や家庭以外での子供達にあまりにも無関心すぎたと感じます。妻として母としての時間をさいてでも集会やデモに参加する。それも必要な場合もあるでしょう。しかしその前に私達女性にあたえられている使命の一つ、母親の立場をもう少し考えてみる必要があるのではないでしょうか。二十一世紀の宇宙をかけめぐる若人達のより良き母体になりたいと思います。近い将来にあの他国で見たなごやかな風景を友愛で実現したいと放言し終ることにいたします。

千葉支部　野球大会に成果

賞品の山に楽しい試合

【千葉発】千葉支部（支部長＝越川隆君）では九月五日午前十時より千葉市院内小学校校庭で「秋のソフトボール大会」をおこなった。

午前十時より千葉支部顧問臼井荘一氏の始球式により大会の幕をあけた。参加者全員を三班に分け三チームを作り、各チーム総当り形式で試合をおこなった。

黄、緑、紫の三チームで、第一試合は黄と緑が試合をおこない二〇対三で緑チームが勝った。この試合終了後丁度十二時になったので昼食をとった。

昼食後、黄と紫の試合がおこなわれ五対一で黄が勝った。続いて緑と紫の試合が行われ最終回まで五対四で負けていた紫チームが二点を入れ逆転勝ちをおさめた。

試合の間に、会員のお母さん方より差し入れがあったりして、たいへん家族的なムードのうちにおこなわれた。試合は、男女入り混じって、中には男性をしのぐファインプレーをおこなう女性も見られた。

各チーム総当りの結果、各チーム一勝一敗であったので、得点数により順位を決めた。その結果、緑、紫、黄の順になった。引き続き表彰式をおこない、優勝チームには、千葉支部顧問臼井荘一氏より贈られたカップが贈呈された。最高殊勲選手賞には、本部の辻谷勝弘幹事、長田正太郎幹事両名より辻谷、長田賞のトロフィが小俣君に辻谷勝弘幹事より手渡された。その他に沢山のスポンサーがつき、沢山の賞が出された。参加者には全員参加賞が渡された。

表彰式終了後、新生活運動研修会での成果を実践し、楽しいソフトボール大会を終った。

親睦の徹底をはかる

関東学生部軽井沢で合宿

関東学生部（委員長＝宮崎久男君）では八月二十四日より二十七日まで三泊四日の日程で軽井沢友愛山荘において参加者二十二名をもって合宿をおこなった。

今回の合宿の目的は、普通会員同志の交流が十分におこなわれていない点を考え、会員同志が常に親しく語り合い、お互を十分に知りあうために、研修よりも親睦に主体をおいた。

第一日目は、まず参加者の親密さを増す意味で、三角ベース野球をおこなった。夜に入り、ミーティングでは、丁度、中央青少年問題協議会がタイ国の青少年を日本に招待して皇太子殿下に面会するため軽井沢を訪れ、友愛山荘が宿舎になった。それでミーティングは、タイ国、マレイシア連邦等東南アジア色豊かな楽しいミーティングになり、愉快に時を過した。

第二日目は、八時半より開講式をおこなった。開講式には、昨夜より宿泊していた中央青少年問題協議会の赤石清悦事務局長、奥田吉郎副会長の両名よりあいさつがあった。

続いて奥田副会長より「ドイツみたまま」の講演があった。講演は八月十三日にドイツより帰国したばかりでもあり、内容はユーモアに富み、ひじょうに有益であった。

夕食後、キャンプ、ファイヤーをおこなった。燃え上る火の前に歌を歌ったり、踊ったりして山荘へ宿泊している青年と固い友愛の絆を結んだ。

第三日目は、ハイキングをおこなった。朝八時半に山荘を出発し神津牧場に向ったのではあったが途中道に迷い何度も同じ道を通った。

第四日目は、分科会より始まった。三班に別れ、「友愛とは何であるか」について各班で、大学生も高校生も一生懸命に話し合った。分科会の後、全体討議に入り、各班の報告がおこなわれた。二班から、年間行事について、どれに重点を置くかを前もって決め、それによって行事を運営していった方が良いのではないかという意見が出された。友愛については、抽象的で解りにくいが、各自が、それなりに友愛を理解する必要があるという意見があった。

この合宿は、親睦を主体にしたが、この目的は達成され、お互に帰りの汽車の中では、楽しく語り合いながら、参加者は各自の成果を高めるための反省を語りあった。

映画会と野球の集い

猪苗代支部の活動に新開地

【猪苗代発】猪苗代支部（支部長＝星健夫君）では八月二十日（金）午後一時より公民館において猪苗代町公民館主催の社会教育映画会に協賛し、映画会をおこなった。

映画は、「ある青春」「幸せな子の将来」等であった。内容は教育的には高く、この様な映画会は今後もどしどし続けてゆかなければ社会教育の青少年指導について大きな欠点になるのではないかと思われる。猪苗代支部としては今度は、独自の企画で映画会を開催する予定である。

映画会終了後、猪苗代支部友愛野球部では、胸にyuaiとマークのはいった真新しいユニフォームを着て練習をおこなった。新入会員も多く、野球部に入るものも多い。

中央日誌

8/10 沖縄派遣友愛文化使節団出発　羽田空港

12 ハンガリー訪問日本青少年代表団結団式ならびに壮行会（前十時　於岸記念体育館）

都政を明るくする都民会議（後三時　於日青館）

13 訪独日本青少年代表団帰国（後六時　羽田空港）

14 核禁と平和国民大会（後六時　於日比谷公会堂）

ユニバシアード代表団結団式（後四時　於岸体育館）

15 友愛移動文化映画四国班出発

ハンガリー訪問日本青少年代表団出発（後十時三十分　羽田空港）

17 第四回常任幹事会（後六時三十分　於本部会議室）

友愛婦人会バスハイク（軽井沢・伊香保二泊三日）

18 社会教育関係青少年団体懇談会（後一時三十分）

20 第十二回軽井沢講習会（於軽井沢友愛山荘）

21 第十二回軽井沢講習会

飯島常任参与中共視察出発（前十一時　羽田空港）

22 第十二回軽井沢講習会

23 体力つくり国民会議第二回総会（後二時　於全共連ビル）

24 関東学生部夏期研修会（於軽井沢友愛山荘三泊四日）

第五回東京都連幹事会（後六時　於上野精養軒）

25 国際交流特別委員会（後二時　於総理府）

タイ国青少年歓迎会（後六時　於総理府スカイルーム）

26 若人の森建設委員会（後五時　於東洋軒）

27 第八回新生活運動研修会（於磐梯友愛山荘）

28 第八回新生活運動研修会

マレイシア女子留学生夏期日本語学校終了

29 第八回新生活運動研修会

9/1 都政を明るくする都民会議（後一時三十分　於東洋軒）

2 第五回常任幹事会（後六時　於本部会議室）

3 飯島常任参与中共より帰国（後八時五十分　羽田空港）

4 千葉支部役員会（後六時　於千葉市社会センター）

移動文化映画班反省会

5 訪独友愛代表者座談会（前九時　於会長邸はなれ）

6 財団法人日本友愛青年協会小理事会（後六時　於本部会議室）

7 早朝墓参会（前六時三十分　於谷中）

友愛婦人会定例役員会（後一時三十分　於会長邸はなれ）

第六回東京都連幹事会・第一回東京都連体育祭準備委員会（後六時　於本部会議室）

日独青少年交換実行委員会（後一時三十分　於衆議院）

ハンガリー訪問日本青少年代表団帰国（後四時三十分　羽田空港）

世界連邦日本青年協議会常任中央委員会（後六時　於衆議院）

あなたの暮しの設計に
ピッタリの積立預金

7

7つのプランから　あなたの目標をお育てください

住宅預金　家庭預金
自動車預金　旅行預金
育英預金　結婚預金
お好み預金

住友銀行

ビルヂングの経営
建築の設計・監理

三菱地所株式会社

取締役社長　渡辺武次郎
本社　東京都千代田区丸ノ内二の二
電話　東京（210）六二一一（代表）

赤ちゃんへの夢を
みのらせる…
〈しあわせなくらしの前奏曲（プレリュード）〉
赤ちゃんのモミジのような手型やうぶ髪のハギレ，片コトやしぐさなどを写真とともにつづれる――
サンワの〝愛のアルバム〟！

アルバム預金
成長の記録をつづる愛児預金
最初のお預け入れ５千円以上

皆さまに親しまれる
三和銀行